

第2回

医療・介護従事者と地域住民がつながる、 楽しく考える人生会議

その人らしい生き方を共に描くフォーラムを開催しました



日向市では、公益社団法人宮崎県看護協会日向・東臼杵地区と共催で、医療・介護従事者と地域住民がつながり、人生の最終段階における医療やケアの考え方について楽しく学ぶ交流会を開催しました。

開催目的

地域住民と医療・介護従事者が一堂に会し、人生の最終段階における医療やケアの考え方について理解を深める機会を提供することを目的として実施しました。



開催概要

- 開催日時：令和8年7月5日（日）9：25～12：00
 - 会場：日向市役所4階 委員会室
 - 参加対象：地域住民、医療・介護従事者
 - 内容：
 - 講演① 「その人らしい生き方を楽しく考える
～みんなでやってみよう人生会議！～」
講師 高石 真那斗 氏（日向たかいクリニック 院長）
 - 講演② 「家で過ごす・家で看取る」
講師 丸田 望 氏（誠和会和田病院 緩和ケア内科医師）
 - 講演③ 「みんなで支える在宅療養～訪問看護師の立場から～」
講師 佐藤 幸代 氏（宮崎県済生会訪問看護ステーション
なでしこ日向 管理者）
- ワークショップ 「みんなで学ぼう！ 人生会議のいろは」



参加者の感想

- 「人生の最終段階について、“考えるだけ”で終わらず、具体的に何を話し合うのかを学べたのが良かったです。家族と話すきっかけになりました。」
- 「“家で看取る／施設も含めて最適な場所を考える”というお話が印象に残りました。在宅にこだわりすぎず、本人の希望を軸に選ぶ考え方が理解できました。」
- 「在宅ターミナルケアで行う支援（症状の緩和、家族支援、24時間対応など）を具体的に知ることができ、不安が少し軽くなりました。」
- 「“人生会議（ACP）”という言葉が、特別なことではなく日常の延長で話し合えるものだと感じました。ワークショップで実際にイメージしながら学べて良かったです。」
- 「家族が困らないために、今のうちに病状や今後の過ごし方を共有しておくことの大切さを実感しました。早めに話し合う必要性を感じました。」
- 「在宅療養を考えるうえで、経済面や介護力など現実的な視点も知ることができました。行政や医療・福祉サービスの活用についても分かりやすかったです。」
- 「“苦痛のない穏やかな状態”を目標に多職種で支えるという説明が心強かったです。相談先が分かるだけでも安心につながります。」
- 「講演を通して、本人の希望が最優先であることを再確認できました。家族だけで抱え込まず、早い段階から専門職につなぐことが大切だと思いました。」

